

日本橋歴史スタディ・鬼平十二番勝負・第3回（全12回）

鬼平が生きた時代

2012年3月20日 安藤優一郎

講演趣旨

池波正太郎の代表作・鬼平犯科帳の主人公長谷川平蔵の知られざる実像をお話します。

1. 鬼平の家庭環境

(1) 平蔵の両親

平蔵の父宣雄は婿養子（父30才）／部屋住み時代の息子（父27才）と実母の素性／継母の早死（父32才）と長命の実母（実母の病死直後に平蔵も病死）

(2) 平蔵宣以（のぶため）の妻

本所の鋏への道と放蕩生活／御目見得（平蔵24才）／結婚（25～6才）と妻の実家大橋家／嫡男辰蔵こと平蔵生まれる（27才）

(3) 平蔵の息子宣義

家督相続（25才）／先手弓頭（62才の時）／66才で死去／弟1人と妹3人

2. 元禄～享保という高成長から低成長への時代

(1) 元禄バブル

人口・耕地の増大／収入の頭打ちと出費の増大／綱吉の豪華な生活と生活水準の上昇

(2) 享保改革という引き締め

財政改革とデフレ現象／町奉行大岡忠相の役割／江戸の不況克服に奔走する

3. 田沼意次の時代と天変地異

(1) 開明的な田沼意次

商人からの冥加金／ロシアとの貿易／人材抜擢の功罪／インフレの進行

(2) 続発する天変地異

目黒行人坂の大火／天明の大飢饉／浅間山噴火／東北地方を襲った冷害

4. 火付盗賊改鬼平と寛政改革の時代

(1) 平蔵、江戸市中取り締まりにあたる

田沼失脚の背景／米商人たちの買占め／米騒動と平蔵の出動

(2) 松平定信の登場

町奉行の解任／松平定信の老中就任／治安回復が都市行政の柱／人足寄場の建議

講師紹介

歴史家。文学博士（早稲田大学）。東京理科大学、JR東日本大人の休日倶楽部講師。著作に『徳川将軍家のブランド戦略』新人物文庫（2012年1月）。『歴史を動かした徳川十五代の妻たち』青春文庫（2012年6月）、『江戸っ子の意地』集英社新書（2012年5月）